

相場を究める 相場を楽しむ

荒野 浩の 市場分析

Market View

(第5回 2020.06.17)

相場の天・底を見極める

相場の天・底を見極める

新値数の10日累計で転換点分かる
1か月平均の「傾き」で、
3か月平均で相場の強弱を
長期線（1年平均）を下回ると、
長期低迷の証

新値数の10日累計のピークが転換点

株価が上昇し、高値を形成する過程では当然のことながら、日々の新高値数が拡大、特に高値直前の2週間分、10日分の累計と高値の日がほぼ前後するという傾向があります。

逆もまた真なりで、株価が大きく下げ、安値を付ける時には新安値数が急拡大、高値の時よりも明確に新安値数の10日累計のピークと安値がほぼ一致します。下表のように売買のタイミングとしては有効ということになります。

高値圏では新高値数の10日累計のピークが、底値圏では新安値数の10日累計のピークが株価の天・底を意味し、転換点になるケースが多いと考えられます。

新高値数の10日累計のピーク→株価の(ザラ場)高値

ピーク日		新高値数計	高値日	日差
16年	12/19	2,202	12/21	2日後
17年	5/17	2,284	5/16	1日前
17年	11/09	3,141	11/9	同日
18年	1/18	2,408	1/23	3日後
18年	5/21	1,118	5/21	同日
18年	10/2	1,008	10/2	同日
19年	4/17	1,392	4/24	5日後
19年	9/26	1,240	9/19	4日前
19年	11/11	1,956	11/8	1日前
19年	12/18	1,496	12/17	1日前
20年	1/23	1,040	1/17	4日前
20年	6/4	877	6/9	3日後

新安値数の10日累計のピーク→株価の(ザラ場)安値

ピーク日		新安値枚計	安値日	日差
16年	1/21	2,784	1/21	同日
16年	2/12	3,049	2/12	同日
17年	4/17	3,795	4/17	同日
18年	7/5	2,765	7/5	同日
18年	11/1	3,946	10/29	3日前
18年	12/25	6,704	12/26	1日後
19年	5/16	2,770	5/16	同日
20年	3/17	7,268	3/19	2日後

1か月サイクル・20日平均の「傾き」 で売買タイミングを測る

下表からは17年以降のデータで、平時には20日平均のピークで株を売り、20日平均のボトムで株を買えば、報われるという結果が出ています。このことから株価の基本波動は1か月・20日であることが分かります。

20日平均が下向きの期間

ピーク		ボトム	日数	直前の 高値	直後の 安値	直後の 高値
17年	3/21	4/25	25日	3/13 19,633	4/14 18,335	6/20 20,230
17年	7/14	9/8	38日	6/20 20,230	9/8 19,274	11/7 22,937
18年	2/1	3/30	39日	1/23 24,124	3/23 20,617	5/21 23,002
18年	10/12	11/21	28日	10/2 24,270	10/29 21,149	12/3 22,574
18~19 年	12/4	1/24	31日	12/3 22,574	12/25 19,155	4/25 22,307
19年	5/8	6/18	29日	4/25 22,307	6/4 20,408	7/25 21,756
19年	7/29	9/3	25日	7/25 21,756	8/26 20,261	12/17 24,066
20年	1/20	4/9	55日	1/20 24,083	3/19 16,552	6/8 23,178

20日平均が「下向き」の期間というのは足下の株価が20日前の水準を下回り続けている期間ということになります。言葉を換えれば、1か月（20日）サイクルでの調整期間ということになります。

上記の短期の調整期間の日数は25日から55日の範囲になっています。ほぼ1か月半から2か月というサイクルです。直前の高値から安値までの日柄を見てもほぼ1か月から2か月です。時間関係からみても比較的売買のタイミングを特定しやすいといえます。

3か月線で中期の相場の強弱を

3か月線が「上」向きで、（終値 > 3か月線）

・ ・ 3か月以上続いた場面

・ ・ 株価に最も勢いがある期間。3か月線を守ることは必須 ・ ・

期間		日数	スタート時	高値	
16～17年	8/26～3/17	135日	16,360円	19,633円	3/13
17～18年	9/15～2/2	92日	19,909円	24,124円	1/23
19～20年	9/5～2/2	92日	21,085円	24,083円	1/20
20年	5/29～				

3 か月線が「下」向きで、（3 か月線 > 終値）
・ ・ 1 か月以上続いた場面


期間		日数	安値日
18年	2/6~4/17	49日	3/23
18~19年	10/11~2/12	81日	12/25
19年	5/23~6/27	26日	6/4
19年	8/2~9/5	24日	8/26
20年	2/25~5/7	48日	3/19

この状態になったら、深押しは明らか




質問コーナー





今回6月SQに向けて海外勢の買い戻しで急騰した後、SQ当日に高値から1,000円下げました。海外勢のSQを狙った仕掛け売り（相場を崩す為に漠上げさせた）との見方がありますがそんなこと可能なんでしょうか？

カブト様



荒野さんのご説明で5月後半は海外勢の買い戻しで日経平均は一気に約2500円も上がったのはよくわかりました。日本株は米国株に引っ張られることもよく耳にします。この間米国ダウも上がっていました。もし今回の海外勢の買い戻しがなくとも米国ダウが上昇していたので、やはり日経平均も上昇していたのではないのでしょうか？つまり海外勢の買い戻しよりも米国ダウの上昇の方が強いと考えるのはいかがでしょうか？あるいは米国ダウにも先物売りの買い戻しがあったのでしょうか？よろしくお願いします。

ムーミン様



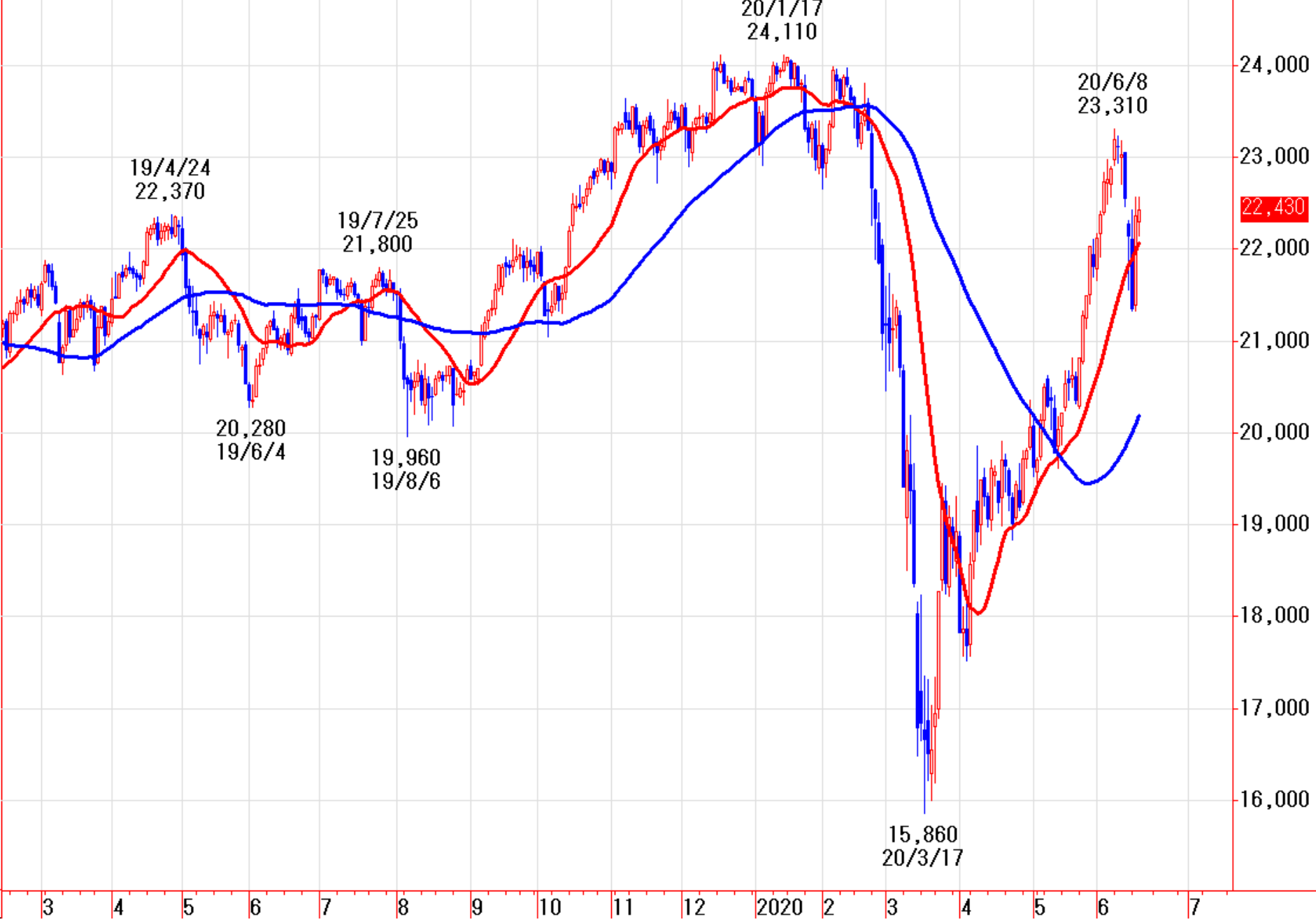
いつも有益な情報有難う御座います。

日経平均の市場分析ですが、現物チャートの分析が主流ですが、先物チャートを使うより現物チャートが有利と考える理由を教えてください。

ヨッチ様

JDNK (大取 225 先物) - 日足 - ローソク足 (始, 高, 安, 終値) 2020/06/17 L=22,430 +70 +0%

移動平均線 2 本 (Close, 20, 60, 0) 22,070.5 20,191.5



JDNK (大取 225 先物) - 週足 - ロートク足 (始, 高, 安, 終値) 2020/06/19 L=22,420 +60 +0%

移動平均線 2 本 (Close, 20, 60, 0) 20,512.5 21,588.2

